

# (公社) いわき青年会議所 財政局長運営方針

財政局長 小野 卓也

1        いわき J C は、公益法人格へ移行して 5 年目を迎える中、公益法人として開示性、透明  
2        性、公共性を重視し適正な公益目的事業や財務管理を行い、社会的信頼の維持をしてきま  
3        した。しかし、近年は在籍年数の短期化にともない公益法人としての経験や知識を積み上  
4        げてきた会員が減少傾向にあり組織力の低下が懸念されます。そのため、知識や経験の継  
5        承が必要で先を見据えた人財の育成を通して組織力を向上させていかなければなりません。  
6        まずは、公益目的事業費率の見込みが 5 0 % 以上を満たすために、公平かつ公立な立場  
7        で年間の予算作成を行い、皆様からお預かりする会費はもとより、各自治体からの補助金  
8        や民間の寄付金などの貴重な財源を、有効かつ適正に運用されているか管理をします。そ  
9        して、各委員会や諸会議が円滑に事業の構築ができるよう財政面から公益性の精査を行い、  
10       財政規則審査会議を通して、予算が適正であるかコンプライアンス及び規則が遵守されて  
11       いるか客観的に審査を行い、適正な財務運営をします。さらに、健全な財務運営を行うた  
12       めに、随時キャッシュフローの管理をして、会計に関する帳簿や記録も整理と確認を行い  
13       管理します。また、地域に対して社会的信頼を構築させるために、証憑書類においては事  
14       務局に据え置きと情報広告を行い、財務運営の透明化を図ります。そして、財務運営を遂  
15       行するとともに、組織力の向上と次世代のいわき J C の運動発信源となる人財を育成する  
16       ために、各委員会には議案書マニュアルの周知徹底を行い、公益性や費用対効果の意識を  
17       高めるため、予算や決算について指導やアドバイスをしながら各委員会の支援をします。  
18       財務運営およびコンプライアンスを適正に管理をして、会員に対して公益法人としての  
19       知識や意識を高めることで、公益法人としての開示性、透明性、公共性が維持できる組織  
20       としての体制の強化に繋がり、可能性広がる J C 運動と夢溢れる故郷の創造が実現します。